

西東京市議会議員 **保谷なおみ** 市議会報告vol.36

第13代議長に就任いたしました

3月4日付で、第13代西東京市議会議長に就任いたしました。2年間務めた議会運営委員長の経験を活かし、議会の「見える化」を始め、議会改革に取り組み、市民のみなさまに身近に感じてもらえる議会を目指します。



もくじ

- ・第13代議長に就任いたしました
- ・池沢たかし初当選！！
- ・学校をキーステーション（重要な拠点）としたまちづくり

池沢たかし初当選！！

2月7日投開票西東京市長選挙



2月18日の初登庁
で、まちづくりの熱い
思いを語る池澤隆史・
新市長。

丸山浩一前市長が体調不良のため不出馬を表明したため、新人3人で争われた西東京市長選挙では、自民党、公明党、西東京市三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）推薦の池沢たかし（戸籍名：池澤隆史）が初当選しました。

副市長として8年間務めた実績と、「徹底したコロナ対策」、「子どもが『ど真ん中』のまちづくり」といったわかりやすい公約が、支持を集めた理由と考えられます。

大勢の国会議員、都会議員、近隣の市議会議員が応援に駆けつけてくれました。（後列右から2人目 保谷なおみ）



駅で池沢たかしを
応援する保谷なおみ



- 昭和37（1962）年保谷市生れ。 碧山小、ひばりが丘中学校、お茶の水女子大学附属高校、東京大学文学部卒。 元学習塾講師。保護司。
- 平成14年、西東京市議会議員選挙初当選。第13代議長。
趣味：ウォーキング、水泳、フラダンス（月2回程度）、読書、映画鑑賞、音楽鑑賞、美術館めぐり。



ホームページ



ライン

学校をキーステーション（重要な拠点）としたまちづくり

池澤市長は、所信表明で、新型コロナウイルス感染症対策に万全を尽くすとともに、「子どもが『ど真ん中』のまちづくりを掲げました。それには、学校が「キーステーション（重要な拠点）」になると強調しました。

複合化で質の高い学校施設を

学校施設には、校庭、体育館、図書館や家庭科室など、さまざまな機能が備わっています。また、子どもでも歩いて行ける場所にあることから、地域住民にとってアクセスが良い。そして、多くの方が学校の場所は知っており、抜群の認知度があります。こういったことから、地域の拠点となるメリットがあります。

施設というハード面のみならず、ソフト面から考えても、学校を拠点としたまちづくりを進めれば、学校運営に地域住民が関わりやすくなると考えられます。

単なる総量抑制のために公共施設の統廃合を進めるのではなく、複合化で質の高い学校施設を整備し、子どもたちの教育環境の整備と市民サービスの向上を同時に目指します。

学校をキーステーションとして、公共施設の統廃合を進めていく視点は、人口減少時代の公共施設のあり方を考えるうえで、非常に大事だと考えます。



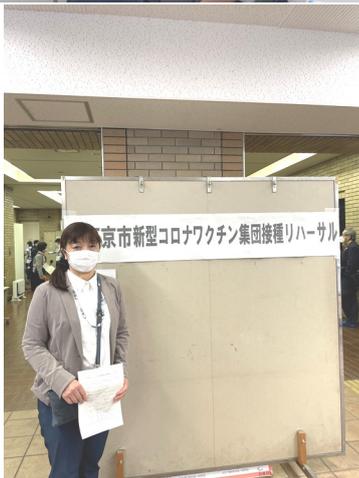
所信表明を述べる池澤隆史市長
(西東京市HPより)

近況報告

議長デビューの3月定例会は、慣れないことばかりでドキドキしました。

口述書というものが一応ありますが、議事は変更点も多いので、口述書の直前の変更や、口述書無しがしょっちゅうあります。しかし、会議規則などのルールはきちんと守らなければならない、言うべきことを言わないとたいへんなことになります。

条例は、議会という公開の場で、議長が、多数決の結果をふまえ、口頭で「可決」と宣言することで、はじめて有効性が生じます。採決のやり直しは基本ないので（一事不再議）、手順を間違えないよう、特に神経をつかいます。



- ・4月21日に行われた新型コロナワクチン集団接種リハーサルのようす。（左2枚）
- ・初めての対外公務。東京都市議会議長会幹事会にて。（中央）
- ・自民党都連女性議連より、お祝いのお花をいただきました。（右）